

『新島研究』第1～101号 総目次〔改訂版〕

タイトル	執筆者	頁
<b>創刊号 (1954年11月)</b>		
新島語録 (一)		表紙裏
見えざる聖手の導き	森中章光	1
新島襄と板垣退助 (一)		4
創業の地を京都に選ぶまで (一)		8
新島先生の印象 (一)		12
説教「改新の説」	新島 襄	13
新島先生とアンドーバー神学校の「兄弟団」		16
新島先生渡米以前の英語研究		18
愛人論	新島 襄	19
新島先生宛書簡・福士成豊より		23
なほ生きてあり [一] 帰朝の巻 (1)	森中章光	24
編集余滴		表紙裏
<b>第2号 (1955年1月)</b>		
新島語録 (二)		表紙裏
“われらは世に与へんとす”		1
新島先生の魅力	徳富蘇峯	2
教育に関する遺言五箇条の解	森中章光	4
いしかねも透れかしてひと筋に		11
新島襄と板垣退助 (二)		12
新島先生の印象 (2)		16
説教「我昔逢困迫而爾寛我」	新島 襄	17
石炭の賛		22
創業の地を京都に選ぶまで (二)		23
額の傷	田中良一	24
新島先生宛川田堯江書簡		29
なほ生きてあり (二) 帰朝の巻 (2)	森中章光	31
編集余滴		表紙裏
<b>第3号 (1955年3月)</b>		
新島語録 (三)		表紙裏
“まづ隗より始む 楽毅は何人ぞ”		1
新島家の家系	森中章光	4

タイトル	執筆者	頁
同志社礼拝堂定礎式に於ける新島先生の式辞		9
蘇峰想出	徳富蘇峰	10
新島襄と板垣退助 (三)		11
勇気の説 (演説)	新島 襄	15
御手当等辞令		18
創業の地を京都に選ぶまで (三)		20
新島先生宛内村鑑三書簡		23
なほ生きてあり (三) 帰朝の巻 (3)	森中章光	25
新島先生とヘッセの家		32
雑報		32
編集余滴		表紙裏
<b>第4号 (1955年5月)</b>		
新島語録 (四)		表紙裏
新島先生の遺邸		1
新島先生誕生当時の家庭	森中章光	4
蘇峰想出「新島先生夫人のことども」	徳富蘇峰	10
新島襄と板垣退助 (四)		11
説教「アルフェウス・ハーディー氏を記念して」	新島 襄	14
新島先生宛書簡	陸奥宗光	23
W. S. クラークの同志社訪問		24
同志社大学設立主意骨案の一節	新島 襄	25
なほ生きてあり (四) 創業の巻 (1)	森中章光	26
雑報・編集余滴		32
<b>第5号 (1955年7月)</b>		
新島語録 (五)		表紙裏
“時危うして偉人を思う”		1
新島先生出生前後の時代概観 (上)	森中章光	2
新島先生の恩師シーリー博士		9
説教「基督教皇張論」	新島 襄	11
新島先生揮毫の愛句		18
新島襄と勝海舟 (一)		19
新島先生最初の修学地 アンダーバー		21
武士の思ひ立田の山紅葉		22
新島先生宛書簡	福土成豊	23

タイトル	執筆者	頁
創業の地を京都に選ぶまで (四)		25
写真資料解説 安中町妙光院		27
なほ生きてあり (五) 創業の巻 (2)	森中章光	28
雑報		32
編集余滴		表紙裏
<b>第6号 (1955年10月)</b>		
新島語録 (六)		表紙裏
“人材の養成にあらざ 人物の養成にあり”		1
新島先生出生前後の時代概観 (中)	森中章光	2
文明の元素 (演説稿)	新島 襄	8
新島襄と勝海舟 (二)		9
説教「康強なる者は医者への助を需ず」	新島 襄	11
六十五年前の新島邸		14
写真資料解説 北垣 国道		15
同志社各学校信者調 (明治21年)		16
創業の地を京都に選ぶまで (五)		17
新島先生宛書簡	津田 仙	19
新島日記「玉島兵庫往復」	新島 襄	20
デビス博士の生涯 (一)	森中章光	23
福士成豊のこと	須藤隆仙	25
なほ生きてあり (六) 創業の巻 (3)	森中章光	26
雑報・編集余滴		32
<b>第7号 (1955年11月)</b>		
新島語録 (七)		表紙裏
新島先生写真像及び先生標語		1
地上に於ける新島先生の使命		2
同志社学校設立の由来	新島 襄	4
新島研究に寄す	徳富蘇峰	7
唐宋詩醇 - 李白の詩句		7
「上帝論」説教原稿	新島 襄	8
帝国憲法の発令と新島先生	田畑 忍	12
創業の地を京都に選ぶまで (六)		14
級友の永眠を悼む 真情の書		16
アーモスト大学一八七〇年クラスの新島先生追悼文に関して	オーテス・ケーリ	18

タイトル	執筆者	頁
新島先生出生前後の時代概観（下）	森中章光	19
写真資料解説 新島先生自書祈祷文		23
新島先生と札幌－独立教会・クラーク博士のこと	末光信三	25
新島襄と勝海舟（三）		27
デビス博士の生涯（2）	森中章光	29
新島日記「江戸より函館の記」(1)		31
新島先生宛書簡 渋沢栄一より	渋沢栄一	32
八十年前の同志社	本間重慶稿	34
なほ生きてあり（七）創業の巻（4）	森中章光	35
編集余滴		39
雑報		40

#### 第8号（1956年1月）

新島語録（八）		表紙裏
謙讓の新島先生		1
新島先生の教育とは何ぞ	徳富蘇峰	2
同志社使命の再反省 感謝と希望	大塚節治	7
説教「聖旨の天に成るがごとく地にも成させたまへ」	新島 襄	15
新島先生告別埋葬記抄		17
新島襄と勝海舟（四）		18
時勢と安中藩主（上）板倉伊予守勝明について	森中章光	20
デビス博士の生涯（3）	森中章光	25
新島日記「江戸より函館の記」(2)		27
写真資料解説 ワイルド・ロバー号		29
創業の地を京都に選ぶまで（七）		30
ハーディー氏宛新島先生書簡		32
逝きし夫を偲びて	新島八重子	33
なほ生きてあり（八）創業の巻（5）	森中章光	35
同志社創立八十周年記念式典参列のため西下入洛の徳富蘇峰先生		39
編集余滴		表紙裏

#### 第9号（1956年3月）

新島語録（九）		表紙裏
熱涙の人新島先生		1
新島先生の人物（遺稿）	波多野培根	2
説教「人を漁る者となさん」礼拝説教原稿	新島 襄	7

タイトル	執筆者	頁
新島襄と勝海舟（五）		12
新英洲神学最後の代表的学者 E. A. パーク博士		14
時勢と安中藩主（下）板倉伊予守勝明について	森中章光	17
デビス博士の生涯（4）	森中章光	22
新島先生が若き日に読んだダニエル・デフォーの名著 “ロビンソン・クルーソー”（其一）	森中章光	24
新島日記「江戸より函館の記」（3）		29
創業の地を京都に選ぶまで（八）		30
写真資料解説 新島先生より菅沼錠次郎宛書簡		32
再び欧米を巡りて（I）	新島 襄	33
新島先生の日常	八重子夫人談	36
なほ生きてあり（九）創業の巻（6）	森中章光	37
雑報		40
編集余滴		41
<b>第10号（1956年7月）</b>		
新島語録（十）		表紙裏
義憤の人新島先生		1
教育者新島先生（講演）	網島佳吉	6
説教「天父基督を十字架に添て世に給へり」	新島 襄	11
新島先生最初の英文記（訳）		16
蘭学の発達及び新島先生最初の蘭学研究について	森中章光	17
新島先生「断髪の辞」		22
新島襄と勝海舟（六）		23
新島日記「江戸より函館の記」（4）		25
新島先生が若き日に読んだダニエル・デフォーの名著 “ロビンソン・クルーソー”（其二）	森中章光	27
創業の地を京都に選ぶまで（九）		30
写真資料解説 粟津高明より新島先生宛書簡		32
デビス博士の生涯（5）	森中章光	34
なほ生きてあり（十）創業の巻（7）	森中章光	36
雑報		40
編集余滴		表紙裏
<b>第11号（1956年10月）</b>		
新島語録（十一）		表紙裏

タイトル	執筆者	頁
礼の人新島先生		1
ハーディー氏宛新島先生書簡（和訳）		5
新島先生とは如何なる人か	末光信三	6
説教「人自ら省みて後そのパンを食しその酒杯を飲むべし」	新島 襄	8
浜田彦蔵と新島先生		11
幕末に海外脱奔を企てた吉田松陰と新島襄	森中章光	12
新島襄と勝海舟（七）		19
新島日記「江戸より函館の記」（5）		21
新島先生が若き日に読んだダニエル・デフォーの名著 “ロビンソン・クルーソー”（其三）	森中章光	23
デビス博士の生涯（9）	森中章光	26
写真資料解説 児島惟謙とその書簡		28
創業の地を京都に選ぶまで（十）		30
再び欧米を巡りて（II）	新島 襄	32
なほ生きてあり（十一）創業の巻（8）	森中章光	36
雑報		40
編集余滴		表紙裏
<b>第12号（1956年12月）</b>		
新島語録（十二）		表紙裏
愛の教育者新島先生（其一）	森中章光	1
説教「天国の鍵」	新島 襄	9
板倉勝明・尾崎直紀・添川康齋と新島先生の少年時代（上）	森中章光	16
新島日記「ニコライ司祭の家に寄寓中の記」		21
新島襄と勝海舟（八）		23
新島先生が若き日に読んだダニエル・デフォーの名著 “ロビンソン・クルーソー”（其四）	森中章光	26
新島先生詳年譜（1）		28
デビス博士の生涯（10）	森中章光	29
創業の地を京都に選ぶまで（完）		32
同志社創立の回顧（一）	D. W. ラーネット	34
なほ生きてあり（十二回）創業の巻（9）	森中章光	36
ラーネット博士の晩年について	住谷悦治	40
雑報		42
編集余滴		表紙裏

タイトル	執筆者	頁
<b>第13号 (1957年2月)</b>		
新島語録 (十三)		0
愛の教育者新島先生 (其二)	森中章光	1
説教「御国を臨ませたまえ」	新島 襄	12
板倉勝明・尾崎直紀・添川廉斎と新島先生の少年時代 (下)	森中章光	16
函館港脱出の記	新島 襄	22
新島先生が若き日に読んだダニエル・デフォーの名著 “ロビンソン・クルーソー” (其五)	森中章光	23
J. D. デビス博士の神戸住宅のこと		26
新島先生詳年譜 (2)		26
同志社創立の回顧 (二)	D. W. ラーネット	27
ハーディー夫人宛新島先生書簡 (訳)		30
新島先生誕生当年の人物年齢表		30
新島先生の母校アーモスト大学を訪れて	住谷悦治	31
なお生きてあり (十三回) 創業の巻 (10)	森中章光	34
雑報		40
編集余滴		41
<b>第14号 (1957年7月)</b>		
新島語録 (十四)		表紙裏
基督者新島襄先生 (其一)	森中章光	1
説教「ヤコブの一生」	新島 襄	7
新島先生詳年譜 (3)		15
新島襄と内村鑑三	末光信三	16
八日間の出来事 (一)	露無文治	19
新島先生 再度の蘭学研究について (上)	森中章光	20
ハーディー夫人宛新島先生書簡 (訳)		25
新島日記「海外渡航の記」(一)		26
デビス博士の生涯 (8)	森中章光	28
新島先生が若き日に読んだダニエル・デフォーの名著 “ロビンソン・クルーソー” (其六)	森中章光	31
なお生きてあり (十四回) 創業の巻 (11)	森中章光	35
雑報・編集余滴		39
<b>第15号 (1957年11月)</b>		
新島語録 (十五)		表紙裏

タイトル	執筆者	頁
基督者新島襄先生（其二）	森中章光	1
ハーディー夫人宛新島先生書簡（訳）		8
説教「競争者」	新島 襄	9
新島先生蘭学研究時代の写本筆記帳より		13
新島先生 青年基督者奨励の句		13
新島先生 再度の蘭学研究について（下）	森中章光	14
新島先生詳年譜（4）		21
新島日記「海外渡航の記」（二）		22
八日間の出来事（二）	露無文治	24
理化学館建築費寄付に対する新島先生の感謝状		25
新島先生逸話（其一）	新島八重子	26
新島先生曾遊の地 伊太利国トレ・ペリチエ	藪内敬之助	30
デビス博士の生涯（9）	森中章光	32
なお生きてあり（十五回）荊棘の巻（1）	森中章光	34
新島先生の二人の人物評		39
雑報		40
編集余滴		表紙裏
<b>第 16 号（1958 年 5 月）</b>		
新島語録（十六）		表紙裏
基督者新島襄先生（其三）	森中章光	1
ハーディー夫人宛新島先生書簡（訳）		13
説教「汝の終わりに於て智くあれ」	新島 襄	14
新島先生詳年譜（5）		18
榎本武揚麾下の鬼艦長 甲賀源吾と新島七五三太	森中章光	19
新島日記「海外渡航の記」（三）		23
徳富蘇峰先生記念		25
その生涯		25
国民史をめぐる憶い出	藤谷みさを	28
“一片丹心渾忘吾”（学校葬式辞）	大塚節治	36
蘇峰先生著述・編纂書一斑		40
なお生きてあり（十六回）荊棘の巻（2）	森中章光	41
<b>第 17 号（1958 年 12 月）</b>		
新島語録（十七）		表紙裏
祖国強化のために訴う（講演）	新島 襄	1

タイトル	執筆者	頁
新島先生の思想的背景	大塚節治	4
同志社創立者の畧歴（新島先生自記）		10
説教「ナイン少年の復活」	新島 襄	11
新島先生の説教と岡山孤児院の創始者石井十次の発心		14
新島日記「海外渡航の記」（四）		15
クリスマスに招く慈母の情「ハーディー夫人の書簡」		17
新島先生“同志社設立の始末”（口語改記）	森中章光	18
デビス博士の生涯（10）	森中章光	23
新島先生逸話（其二）	新島八重子	26
ピーター・パーカー博士		28
なお生きてあり（十七回） 荊棘の巻（3）	森中章光	33
誌報		39
<b>第18号（1959年4月）</b>		
新島語録（十八）		表紙裏
新島先生の告辞		1
同志社大学設立の旨意（口語改記）	森中章光	4
説教「朋友の交誼」	新島 襄	16
新島日記「海外渡航の記」（五）		21
新島先生逸話（其三）	新島夫人談	24
「新島先生は如何なる人であったか」（講演）	松波仁一郎	26
デビス博士の生涯（11）	森中章光	33
同志社初期の思い出（其一）	本間重慶	35
なお生きてあり（十八回）熊本バンドの不满（1）	森中章光	36
<b>第19号（1959年7月）</b>		
新島語録（十九）		表紙裏
説教「罪について」	新島 襄	1
新島先生における罪と罰	秋山哲治	5
エフレイム・フリント牧師 その経歴と新島先生との関係 及びシーリー博士におくった新島先生紹介の書	森中章光	7
新島日記 明治十三年（1）		14
新島先生と伊予青年	末光信三	16
一致・組合両教会合併問題について	新島 襄	19
新島先生の帰国を報道した最初の新聞記事		25
熊本洋学校とキャプテン・ジェーンズ		27

タイトル	執筆者	頁
新島先生逸話（其四）	新島八重子	29
デビス博士の生涯（12）	森中章光	31
1864年以前の支那における新約聖書		33
同志社初期の思い出（其二）	本間重慶	34
なお生きてあり（十九回）熊本バンドの不满（2）	森中章光	35
新島先生時代に起工または竣工した同志社の建物① 礼拝堂		40
会報		40

### 第20号（1959年10月）

新島語録（二十）		表紙裏
同志社大学の設立について 京都知恩院大集会における 新島先生の演説		1
新島先生と蘭学の師杉田玄端との関係	森中章光	9
新島先生と立花康哉	園田重賢	14
説教「時の微を知れ」	新島 襄	15
同志社初期の思い出（其三）	本間重慶	19
新島日記 明治十三年（2）		20
恩師をしのびて	柏木義円	22
デビス博士の生涯（13）	森中章光	26
新島先生の伝道精神 伝道者への書簡		29
なお生きてあり（二十回）独立か廃校か	森中章光	35
同志社の建物② 彰栄館	田中良一	40
新島襄先生書誌		40

### 第21号（1960年4月）

新島語録（二十一）		表紙裏
説教「神の愛と人の罪」	新島 襄	1
W. S. クラーク博士の最初の日本人生徒	森中章光	13
新島先生と渋沢栄一	有賀鉄太郎	16
新島日記 明治十三年（3）		20
アーモスト・カレッジと新島先生	今谷逸之助	22
デビス博士の生涯（14）	森中章光	25
津田仙翁が語る 若き日の新島先生	津田 仙	28
新島先生七十年記念会		29
随筆 安中物語	田中良一	30
山竜堂病院長 医学博士 櫻村清徳		37

タイトル	執筆者	頁
沢辺琢磨 新島先生海外脱出補助者の一人		38
なお生きてあり (二十一回)	森中章光	42
同志社の建物③ ハリス記念理科学館		45
会報		46
<b>第22号 (1960年7月)</b>		
新島語録 (二十二)		表紙裏
説教「赤心をつめて聖霊の火を点ぜよ」	新島 襄	1
アマーストカレッジの伝統と新島先生	児玉実英	6
アーモストかアマーストか? (一)	田中良一	14
説教「無くてはならぬものは多からず唯一のみ」	新島 襄	15
新島襄 教育思想とその形成過程 (一)	松本嘉一	19
新島日記 明治十三年 (4)		27
デビス博士の生涯 (15)	森中章光	29
新島門下の俊秀 山崎為徳の生涯とその書簡	千田万三	33
アーモスト大学及びW. S. クラーク博士について	三宅驥一	40
なお生きてあり (二十二回) 自責の巻 (1)	森中章光	41
同志社の建物④ 有終館		44
新島先生史料展観-同志社香里中高主催		45
会報		46
<b>第23号 (1960年10月)</b>		
新島語録 (二十三)		表紙裏
説教「我もし地より挙げられなば万民を引き我に來らせん」	新島 襄	1
感算理説	新島 襄	4
日本文化と新島襄先生 (講演)	高坂正顕	5
函館新島襄脱出渡航の地	田中順二	20
新島日記 明治十三年 (5)		21
バルチモアにおける朝の祈り	森中章光	23
新島襄 教育思想とその形成過程 (二)	松本嘉一	27
デビス博士の生涯 (16)	森中章光	32
新島門下の俊秀 文学博士 大西祝	森中章光	35
学生時代のジョーセフ・ニイシマ		41
なお生きてあり (二十三回) 自責の巻 (2)		42
会報		46

タイトル	執筆者	頁
------	-----	---

### 第24号 (1961年1月)

新島語録 (二十四)		表紙裏
説教「真理につきて証せんためなり」	新島 襄	1
「同支社設立の始末」と岡山孤児院の創立者		6
大いなる結果に期待する	J. H. シーラー	7
新島襄 教育思想とその形成過程 (三)	松本嘉一	12
マウントバーノン教会	森中章光	20
新島日記 明治十三年 (6)		21
デビス博士の生涯 (17)	森中章光	23
新島先生1866年元旦書簡 (和文訳)		27
デビス博士を偲ぶ	足立宇三郎	28
アームストかアマーストか? (二)	田中良一	29
新島襄と聖書 (懸賞論文)	宮内教司	31
愛用の古洋服		42
なお生きてあり (二十四回) 自責の巻 (3)	森中章光	43
新島先生遺品展目録		46

### 第25号 (1961年5月)

新島語録 (二十五)		表紙裏
“日本における基督教主義高等教育のために訴う” (原英文口語全訳)	新島 襄	1
勝海舟と先生	原田 助	12
函館湾頭の福士成豊を憶う	秦 孝治郎	13
ハーディー氏あて新島書簡		18
説教「宗教は万民の望むところなり」	新島 襄	19
表街道と裏街道 - 新島先生と勝海舟	徳富蘇峰	21
私の新島襄先生観 (懸賞論文)	木内正一	22
デビス博士の生涯 (18)	森中章光	35
新島日記 明治十四～十五年		38
なお生きてあり (二十五回) 自責の巻 (4)	森中章光	41
会報		45

### 第26号 (1961年11月)

新島語録 (二十六)		表紙裏
“神によりてたち神によりて栄ゆる学校”	J. D. デビス	1
説教「義人之祈」	新島 襄	4

タイトル	執筆者	頁
新島先生あて書簡	田中不二磨	8
新島日記 明治十五年(2)		10
キャプテン・ジェーンズ (I) その人物・熊本洋学校における教育	森中章光	13
新島襄先生の人物・思想・信仰について (懸賞論文)	山内真樹	17
デビス博士の生涯 (19)	森中章光	28
孤児院創始の父 ジョージ・ミューラー (序文)	新島 襄	31
ハーディー夫人あて新島書簡		32
なお生きてあり (二十六回) 自責の巻 (5)	森中章光	33
会報		40
<b>第27号 (1962年12月)</b>		
新島語録 (二十七)		表紙裏
日本における基督教主義大学のために	N. G. クラーク	1
自修主義の教育	安部磯雄	4
説教「安息日と文明国の関係について」	新島 襄	5
同志社ハリス理化学校寄附者 J. N. ハリス氏の第1書簡		9
新島先生英文書簡の編者 A. S. ハーディー氏の略歴		11
新島先生より福土成豊あて書簡 (原英文訳)		12
新島先生の声をきく	末光信三	14
新島先生について	松山高吉翁直話	17
新島日記 明治十五年(3)		18
デビス博士の生涯 (20)	森中章光	21
新島先生愛唱讃美歌		26
新島先生の人物・思想・信仰について (懸賞論文)	平尾誠吾	27
なお生きてあり (二十七回) 自責の巻 (6)	森中章光	39
<b>第28号 (1963年11月)</b>		
新島語録 (28)		表紙裏
説教「此の人を觀よ」	新島 襄	1
職を賭して青年を助けた船長	加藤延雄	5
望ましき前進目標 (シーラー教授印度講演)	今谷逸之助訳	6
新島先生の書簡より		13
新島先生と私共 - 学生への勧め -	田中良一	14
新島日記 明治十五年(4)		18
愛と信仰の力 (新島書簡の一節)		20

タイトル	執筆者	頁
デビス博士の生涯 (21)	森中章光	21
なお生きてあり (二十八回) 自責の巻 (7)	森中章光	27
下宿人でなく家族の一人です	加藤延雄	31
摂理の御導き (ハーディー夫人の手紙)	新島 襄	32
遺品庫便り	田中良一	36
新島先生が選ばれた聖句		39
会報		40

### 第 29 号 (1964 年 3 月)

新島語録 (29)		表紙裏
説教「伝道」	新島 襄	1
新島先生の病床に侍して	遠藤鏡太郎	4
説教「新島先生と現代」	大塚節治	5
新島日記 明治十五年 (7)		10
新島先生に関する牧野翁の語	加藤延雄	12
デビス博士の生涯 (22)	森中章光	13
デビス博士の一面	加藤延雄	19
民主主義の発展と新島襄 (懸賞論文)	関口 徹	20
死と直面の心境 新島先生の手記		31
民主的な新島先生	加藤延雄	32
なお生きてあり (二十九回) 自責の巻 (8)	森中章光	33
クラーク記念館の一隅から	加藤延雄	39
会報		40

### 第 30 号 (1965 年 1 月)

新島語録 (30)		裏表紙
説教「衣服をうりて刀を買うべし」	新島 襄	1
質疑応答		4
新島七五三太の脱国に関する二・三の点につき	加藤延雄	5
新島日記 明治十五年 (8)		6
新島先生の平民主義	大塚節治	8
沢山保羅先生 - 先生と同志社の大リバイバル -	足立宇三郎	13
同志社の大リバイバル - 同志社教会記録から -	N K 生	23
民主主義の発展と新島襄 (懸賞論文)	俣野真美	24
なお生きてあり (三十回) 大学の巻 (1)	森中章光	33
雑報		39

タイトル	執筆者	頁
<b>第31号 (1965年8月)</b>		
新島語録 (31)		表紙裏
説教「カインとアベル」	新島 襄	1
百年前	N・K	5
新島日記 明治十五年 (9)		6
臨終の新島先生の看護婦	鈴木限三	8
新島先生と洋学 (記念講演)	重久篤太郎	9
アンナの手紙 (記念講演)	加藤延雄	13
新島襄と明治教育 (懸賞論文)	徳永由美子	19
新島襄の蘭学研究 (上)	鎗木路易	30
デビス博士の生涯 (23)	森中章光	43
明治期における同志社の苦難 (一)	足立宇三郎	51
山崎為徳改葬始末	田中良一	67
なお生きてあり (三一回) 大学の巻 (2)	森中章光	70
若き日の新島襄先生より学ぶもの (懸賞第一位入選論文)	中条 潮	75
在同志社新島関係資料 目次 I		81
会報		84
<b>第32号 (1966年4月)</b>		
新島語録 (32)		表紙裏
説教「我已に世に勝てり」	新島 襄	1
新島日記 明治十五年 (10)	新島 襄	4
新島襄の蘭学研究 (下)	鎗木路易	6
デビス博士の生涯 (24)	森中章光	20
新島襄先生の遺書 (アルプスにて) 前半		26
明治期における同志社の苦難 (二)	足立宇三郎	27
なお生きてあり (三十二回) 大学の巻 (3)	森中章光	37
会報		40
<b>第33号 (1967年1月)</b>		
新島語録 (33)		1
説教「霊に播け」	新島 襄	2
新島襄受洗100周年	加藤延雄	5
新島日記 明治十五年八月六日	新島 襄	12
遊奥記事 明治十五年	新島 襄	14
近代日本と新島襄 (懸賞論文)	林 育雄	26

タイトル	執筆者	頁
金のかからぬ選挙	奥村龍三	37
明治期における同志社の苦難（三）	足立宇三郎	38
新島襄乗船の『快風丸』の研究	鏑木路易	44
下津井港で		51
デビス博士の生涯（25）	森中章光	52
なお生きてあり（三十三回）大学の巻[4]	森中章光	57
書評 砂川万里氏の「新島襄」を読んで	手塚竜磨	63
会報		64
<b>第34号（1967年11月）</b>		
新島語録（34）		1
説教「快樂」	新島 襄	2
六大教育家頌辞（抄）	辻 新次	4
新島日記 明治十六年三月 続き	新島 襄	5
新島先生の最終目的	横井時雄	7
「新島日記」詳解 三たん紀行編	同志社香里中学校地歴部	8
新島襄のキリスト教思想－その社会事業的意味－	中条明子	20
山崎為徳書簡（舞野宛）	山崎為徳	28
デビス博士の生涯（26）	森中章光	29
新島先生と友達（懸賞論文）	谷脇千尋	34
なお生きてあり（三十四回）大学の巻 [5]	森中章光	40
会報		45
<b>第35号（1968年9月）</b>		
新島語録（35）		1
説教「十字架の贖」	新島 襄	2
百年前の新島先生	加藤延雄	5
新島先生の信仰の背景をなす新英州神学について	大塚節治	6
新島襄における愛の心（懸賞論文）	川端敏史	16
デビス博士の生涯（27）	森中章光	26
なお生きてあり（三十四回）大学の巻（6）	森中章光	30
会報		37
P. F. マッキーン著 新島襄略伝について	NK生	37
A Sketch of the early life of Joseph Hardy Neesima. (I)	Phoebe Fuller Mckeen	38

タイトル	執筆者	頁
<b>第36号 (1969年9月)</b>		
新島語録 (36)		1
説教「悔改」	新島 襄	2
新島日記 明治十五年六月七日ヨリ始ム	新島 襄	4
新英州神学の実践面	足立宇三郎	8
新島襄の教育上のビジョン (懸賞論文)	小西裕美	14
	山口真理	
沢辺琢磨伝	福永久寿衛	25
デビス博士の生涯 (28)	森中章光	33
我が心の新島襄 (懸賞論文)	岸田 博	38
なお生きてあり (三十六回) 大学の巻 (7)	森中章光	45
A Sketch of the early life of Joseph Hardy Neesima. (II)	Phebe Fuller Mckeen	51
会報		63
<b>第37号 (1970年3月) 創刊15周年記念号</b>		
新島語録 (37)		1
『新島研究』十五周年に思う	住谷悦治	2
同志社新島研究会ならびに『新島研究』誌十五年間の歩み	加藤延雄	3
新島先生 その生涯の意義について	森中章光	8
徳富蘇峰翁端書	徳富蘇峰	27
総目録 (第1号-第36号)		1
新島研究索引 I 標題別 II 著者別		31
<b>第38号 (1971年1月)</b>		
新島語録 (38)		1
説教「信仰」	新島 襄	2
新島襄と内海忠勝	足立宇三郎	4
新島先生に対する協力者たち (上)	秦 孝治郎	9
高島秋帆と新島襄 (上)	鏑木路易	14
デビス博士の生涯 (29)	森中章光	21
ジョナサン・ニュートン・ハリス伝等	中西 進	25
懸賞論文「新島襄と現代の青少年」	宮田敬子	30
新島先生を見直す	田村光三	32
なお生きてあり (三十七回) 大学の巻 (8)	森中章光	35
会報		39

タイトル	執筆者	頁
<b>第 39 号 (1972 年 2 月)</b>		
新島語録 (39)		1
説教「吾信ず我不信を助賜へ」	新島 襄	2
新島日記 明治十五年 続き		4
吉田松陰と新島襄	卜部和義	8
新島先生に対する協力者たち (下)	秦 孝治郎	11
高島秋帆と新島襄 (下)	鏑木路易	16
デビス博士の生涯 (30)	森中章光	25
新島先生の性格の分析的研究 (懸賞論文)	水口賀代	30
わたくしの新島先生観 (懸賞論文)	中井敦子	38
なお生きてあり (三十八回) 大学の巻 (9)	森中章光	42
会報		47
<b>第 40 号 (1972 年 11 月)</b>		
新島語録 (40)		1
説教「愛とは何ぞや」	新島 襄	2
新島日記 (出遊記)	新島 襄	4
蘇峰遺著「三代人物史」に滲み出る新島襄先生への愛着観	卜部和義	8
デビス博士の生涯 (31)	森中章光	10
懸賞論文「新島先生の肖像がわたしに語りかけることば」	神谷 遊	16
懸賞論文「先駆者としての新島襄」	大橋 隆	20
なお生きてあり (三十九回) 大学の巻 (10)	森中章光	32
会報		36
Joseph Hardy Neesima, a sketch. Chapter I	E. C. Boynton	40
<b>第 41 号 (1973 年 4 月)</b>		
新島語録 (41)		1
説教「主の心を知る」(仮題)	新島 襄	2
新島日記 (出遊記つづき)	新島 襄	4
ドイツ滞在中の新島襄	和田洋一	9
新島書簡 (片桐清治宛) - 片桐清治のことども -	加藤延雄	15
なお生きてあり (四十回) 大学の巻 (11)	森中章光	19
本会副会長 秦孝治郎氏について	加藤延雄	26
会報		28
新島襄とその弟子 (懸賞論文)	大橋 隆	29
Joseph Hardy Neesima, a sketch. Chapter II	E. C. Boynton	40

タイトル	執筆者	頁
<b>第42号 (1974年3月)</b>		
新島語録 (42)		表紙裏
巻頭言	松山義則	1
説教「モーセの一生涯」	新島 襄	3
近く卒業せんとする同志社英学校五年生宛書簡	新島 襄	4
新島日記 (出遊記続き)	新島 襄	5
新刊紹介 (Ⅰ) 永沢嘉巳男編『新島八重子夫人回想録』		8
岩倉・木戸・山本・新島 ふしぎな四人のつながり	住谷悦治	9
新島襄先生の覚悟 新島書簡より	加藤延雄	13
和田洋一教授の新島像	志賀英雄	14
新刊紹介 (Ⅱ) 住谷悦治著『ラーネッド博士伝』		17
なお生きてあり (四十一回) 大学の巻 (12)	森中章光	18
新島襄先生の刀	加藤延雄	24
Joseph Hardy Neesima, a sketch. Chapter Ⅲ-IV	E. C. Boynton	38
会報		39
<b>第43号 (1974年8月)</b>		
新島語録 (43)		表紙裏
巻頭言	高橋 虔	1
説教「基督弟子の足を洗ひ賜ふこと」	新島 襄	3
新島日記 (出遊記続き)	新島 襄	4
三通の書簡 (互に関連のある)		14
本会主催第15回懸賞論文募集要項		17
新島先生を憶う	住谷天来	18
「新島書簡」断章	本井康博	23
書簡の人新島	N. K. 生	26
なお生きてあり (四十二回) 大学の巻 (13)	森中章光	27
新島襄と福澤諭吉 (懸賞論文)	富塚秀樹	33
会報		40
Joseph Hardy Neesima, a sketch. Chapter V-VI	E. C. Boynton	41
<b>第44号 (1975年5月)</b>		
新島語録 (44)		表紙裏
巻頭言	住谷悦治	1
説教「祈を聞賜ふ神よ人々挙て来らん」	新島 襄	3
新島書簡 2通 (新発表)	新島 襄	6

タイトル	執筆者	頁
新島夫妻の優しさ		7
エドワーズ・アマサ・パークの「記念説教集」(上)	藤代泰三	9
新島先生遺品三点寄贈		30
伝道師の心得(新島書簡より)	森中章光	31
押川方義の一面、新島襄との出会い	卜部和義	32
新島先生に魅せられた少年(足利武千代のあゆみ)	加藤延雄	35
新島先生のこころ、新島先生のあしあと	樋口 稔	39
新島襄の声	N. K.	42
会報		43
J. H. NEESIMA'S JOURNAL (1)		52
<b>第 45 号 (1976 年 2 月)</b>		
新島語録 (45)		1
巻頭言	酒井 康	2
説教「基督の目的は世人の目的を以て比すべからず」	新島 襄	3
新島日記(出遊記続き)	新島 襄	8
エドワーズ・アマサ・パークの「記念説教集」(下)	藤代泰三	12
教会費自給論	足立宇三郎	26
同志社百周年を迎えて新島先生を思う	加藤延雄	30
真理の碑		37
会報		38
<b>第 46 号 (1976 年 7 月)</b>		
真理と人道のために自己をささげよ	新島 襄	1
基督教主義の教育に於ける予が経験	J. D. デビス	2
説教「霊の学問なかるべからず」	新島 襄	7
W. T. シェボリーの初信	W. T. Savory	10
快風丸の船士塩田虎尾・その略歴		13
新島襄の漢詩(一)	小川与四郎	17
盲目の人・山本覚馬翁の書簡	森中章光	23
蟻の説(演説稿)	新島 襄	27
江山如有待(新島先生を憶う)	綱島佳吉	32
J. N. ハリスの書簡(理化学校寄付につき)		37
勝海舟六然之書(解)	森中章光	39
会報		40

タイトル	執筆者	頁
<b>第47号 (1976年11月)</b>		
深山大沢生竜蛇 (古賀鶴次郎あて書簡の中から)	新島 襄	1
新島先生を憶う 第二十回忌を記念して	大隈重信	2
新島襄と新潟伝道	本井康博	6
説教「十人の娘」	新島 襄	11
組合教会独立始末 (抜萃)		14
新島襄の漢詩 (二)	小川与四郎	15
新島家訓 二十三箇条		21
この人-新島① 国家のため健康を大切にせよ	山中 百	22
新島日記 第二出遊記 (続)		23
W. マルチンと新島 その書簡		26
天道溯原の「懺悔文式」	W. A. Martin	28
	高橋五良 (和文訳)	
漢学の師 添川廉斎	森中章光	29
条約改正を促すの策 (稿)	新島 襄	36
転籍問題と学校開設の認可運動 (開校前史)	森中章光	39
田中不二磨の書簡 明治八年七月新島あて	田中不二磨	44
新島先生と「唐宋詩醇」	徳富蘇峯	45
滴々録		46
<b>第48号 (1977年2月)</b>		
恩寵無限 (夫人あて書簡の中から)	新島 襄	1
私の新島観 (講演)	深井英五	2
説教「盲見ことを得」	新島 襄	12
新島襄の漢詩 (三)	小川与四郎	15
新島日記 (第二出遊記続)		21
この人-新島② お名前をもう一度	長坂鑿次郎	24
再び欧米諸国を歴遊して	新島 襄	24
横浜公会の新島招聘状について		31
J. H. シーラー博士の書簡 (内村鑑三に関して)	Julius H. Seelye	32
新島先生闘病の半生	森中章光	33
同志社教会創立百周年記念の日を迎えて	寺崎 暹	42
京都三公会の設立と第二公会最初の会員		45
新島襄の肖像画、原田直次郎画伯	森中章光	46
滴々録		48

タイトル	執筆者	頁
<b>第 49 号 (1977 年 7 月)</b>		
年なお壮なるときキャラクターを養え (蘇峰あて)	新島 襄	1
若き日の新島肖像 (住谷宗一画伯筆)	住谷悦治	2
心に塩をたくわえよ (新島講話)		3
新島襄と波多野培根 “明治教育史の一断面” (講演)	村上寅次	4
勝山 波多野培根先生 (略歴)	森中章光	13
徳富蘇峯の新島観 (講演)	森中章光	15
“維新志士の血みなぎる” (蘇翁感銘録より)	徳富蘇峰	19
新島襄の漢詩 (四)	小川与四郎	20
説教「真理の証」	新島 襄	26
『山本覚馬伝』(読後感)	宮澤正典	29
この人 NEESIMA (3) “救国済民”	村井知至	34
A. S. ハーデーから新島の大小刀同志社へ寄贈の書 (英文)	Arthur Sherburne Hardy	34 35
新島日記 漫遊記 (一)		
新島の国外脱出に関係ある二人の人物について 塩田 虎尾 福土成豊	森中章光	37
テイラー船長の形見の航海書		40
男子出生に付到来之品控	新島民治記	41
会記より		42
滴々録		42
<b>第 50 号 (1977 年 11 月)</b>		
親心をえて新民となれ (板垣退助あて)	新島 襄	1
同志社教育の真相	村田 勸	2
校内時報につき伺書		9
新島襄による仙台東華学校の創立とその終焉 (上)	久永省一	10
新島書簡 (英文) ハーディー氏あて (1)		22
新島襄の漢詩 (五)	小川与四郎	23
新島母とみ略歴		28
この人 - NEESIMA (4)	金子堅太郎	29
愛国者 新島襄先生 (講話)	森中章光	29
新島の姉弟		37
道理と信仰の関係 (伝道説教稿)	新島 襄	38
新島日記 漫遊記 (二)		41
新島油絵肖像 (伊藤快彦画伯筆)	森中章光	44

タイトル	執筆者	頁
到来物控 (二)	新島民治	46
ハガキたより	住谷悦治	47
滴々録		47
<b>第51号 (1978年2月)</b>		
“汝志を屈するなかれ”	新島 襄	1
私の見た新島先生	安部磯雄	2
新島襄による仙台東華学校の創立とその終焉 (下)	久永省一	7
新島の海外渡航に関係ある沢辺琢磨の直系孫女の書簡		20
新島書簡 (英文) ハーディー氏夫妻あて (2) (3)		21
新島襄の漢詩 (六)	小川与四郎	22
到来物控 (三)	新島民治記	27
新島襄の大学募金運動とその義捐者	森中章光	28
この人-NESIMA (5) 誓って抜刀せず	田中兎毛	32
新島研究に関して望むこと	北垣宗治	33
常に聖書により祈りにより信仰を固くせよ (教会合併式での奨励)	新島 襄	38
基督教と国家との関係 新島講話		40
ニコライあて新島書簡稿		41
新島日記 漫遊記 (三)		42
新島油絵肖像 (ブラック夫人筆)	森中章光	44
同志社アーモスト館 沿革概要		46
海外だより アーモスト	井上勝也	47
<b>第52号 (1978年7月)</b>		
“憎ふては打たぬものなり笹の雪”	新島 襄	1
吾人の眼に映じたる新島襄先生	柏木義円	2
“新島自責の鞭”	徳富蘇峰	8
到来物控 (四)	新島民治記	12
新島書簡 (英文) ハーディー氏夫妻あて (4)		13
新島先生の墨蹟について (講演)	森中章光	14
新島先生墓碑見積書		24
この人NESIMA (6) 熱涙ほとばしる愛国の至情	丹波清次郎	25
“彼言我慥かに爾と共なるべし” (説教草稿)	新島 襄	26
新島日記 漫遊記 (4)		29
千木良昌庵について	萩原俊彦	31

タイトル	執筆者	頁
福土成豊の人物	片山幽吉	38
新島氏家統記 (其一)	新島民治手記	38
新島油絵肖像 No.4 湯浅一郎画伯筆	森中章光	43
新島遺品庫 その発端から建築竣工まで 会報	森中章光	46 48
<b>第 53 号 (1978 年 11 月)</b>		
“不撓の信仰と不拔の精神”	新島 襄	1
時艱にして偉人をおもう (講演)	山室軍平	2
山室軍平略年譜	森中章光	7
アルフェウス・ハーディー 人と生涯	井上勝也	10
この人NEESIMA (7) 熱誠純情の支援に感謝の熱涙を流す	石井白露	25
新島襄先生と徳富蘇峰先生	田畑 忍	26
新島日記 漫遊記 (5)	新島 襄	33
新島書簡 (英文) ハーディー氏夫妻あて (5)		35
到来物控 (其五)	新島民治記	36
アレキサンダーP・ポーターのこと	森中章光	37
新島氏家統記 (其二)	新島民治手記	37
池袋清風日記より (新島先生第二回外遊送別会・七条 ステーション見送りのこと)	池袋清風	42
S. C. パートレット宣教師 来日当時の追憶	Samuel C. Bartlett	43
新島帰国最初の新聞記事		47
“Life and Letters of Joseph Hardy Neesima” 書簡表… 受信者・発信者・発信地・年月日 (I) (1866~1867)		48
涓滴		48
<b>第 54 号 (1979 年 2 月)</b>		
“右の手の為すところは左の手に知らしむる勿れ”	新島 襄	1
新島先生を懐う	J. D. デビス	2
J. D. デビス博士略歴	森中章光	7
新島書簡 (英文) ハーディー氏夫妻あて (6) (7)		11
新島襄と天誅組の猛士 原田亀太郎 (上)	森中章光	12
この人 NEESIMA (8) 掲示板の落書	横田安止	21
新島日記 漫遊記 (6)		22
金森通倫あて「新島書簡」		25
到来之品控 (其六) (其七)	新島民治記	26

タイトル	執筆者	頁
新島氏家統記（其三）	新島民治記	26
『勝山餘籟』勝山波多野培根先生の遺文集について	竹中正夫	27
新島先生病床の記	徳富蘇峯	30
大磯から若王子山頭まで（『国民新聞』）		32
八十九年前 一月二十三日午後二時二十分（日記）	中瀬古六郎	33
同志社初期の追憶	海老名みや子	37
新島父子対面の歌		40
同志社創立当時の熊本バンドを語る	本間重慶 柳川芳人	41
新島先生の修身学問題		44
“Life and Letters of Joseph Hardy Neesima” 英文書簡表… 発信者・受信者・発信地・年月日（Ⅱ）（1868～1871）		45
デビス博士の新島先生伝について	森中章光	46
<b>第 55 号（1979 年 7 月）</b>		
“労働は人生の良薬 苦難は青年業を成すの楷梯”	新島 襄	1
新島先生その人と感化（講演）	松波仁一郎	2
新島襄の同志社大学設立計画の教育史的意義	酒井 康	10
到来の品控（其八）	新島民治記	16
看病婦学校の設立の主旨につき（講演）	新島 襄	17
この人NEESIMA（9）立派な基督者となって日本を救え・ 十字架上のエスを仰いで進め	堀貞一談	21
新島書簡（英文）ハーディー氏夫妻あて（8）		22
新島襄と天誅組の猛士 原田亀太郎（中）	森中章光	23
森田節斎の原田亀太郎遺後記		31
田中不二磨（生い立ちと経歴）		32
記念すべき第一ページ（同志社設立につき）	森中章光	35
新島と自然科学		40
“隠君子の出顕”（講演）	新島 襄	41
新島氏家統記（其四）	新島民治記	41
明治四年米欧派遣 特命全権使節一行（一覧表）		44
会報		46
<b>第 56 号（1979 年 11 月）</b>		
“よしの山花咲く頃の朝な朝な心にかゝる峰の白雲”	新島 襄	1
私の新島先生観	浮田和民	2

タイトル	執筆者	頁
英文新島書簡 ハーデー夫妻あて (9)		10
新島襄におけるキリスト教信仰 特に贖罪論を中心に	鎌谷 襄	11
新島襄と天誅組の猛士 原田亀太郎 (下の一)	森中章光	21
学問之説 (演説メモ)	新島 襄	31
この人NEESIMA (10) 一絲の乱れもなきその書齋	加藤寿追憶	34
同志社創立第二一回記念会における演説	小崎弘道	35
徳富蘇峯“新島先生聖書の記”	徳富蘇峯	41
信仰歌五言長詩	山崎為徳	42
新島氏家統記 (其五)	新島民治記	42
倅稽古 修業一件 (1)	新島民治記	44
“Life and Letters of Joseph Hardy Neesima” 書簡表 (1872) (Ⅲ)		47
横田安止略歴		48
会報		48

#### 第 57 号 (1980 年 4 月)

“満腔の感慨・試金石の精神”	新島 襄	1
新島先生を憶う	横井時雄	2
新島襄の長逝を悼む 福沢諭吉のことば	福沢諭吉	6
英文新島書簡 ハーデー氏夫妻あて (10)		7
靈魂の病気について 演説稿	新島 襄	8
W. S. クラークの書簡より		11
安中教会の創立と新島襄・海老名喜三郎	萩原俊彦	12
新島学園の新島精神教育	肥後正久	22
新島襄と天誅組の猛士 原田亀太郎 (下の二)	森中章光	25
甘雨公板倉勝明の履歴 (一)		39
新島日記 漫遊記 (7)		40
この人NEESIMA (11) 我国を救済するものは誰ぞ		42
飯田逸之助 書簡		43
キリスト教宣伝 最初の公開大演説会		44
“Life and Letters of Joseph Hardy Neesima” 書簡表 (1873~74) (No.Ⅳ)		48
会報		49

#### 第 58 号 (1980 年 7 月)

“わが心をもって神の永住したもう宮殿と心得よ”	新島 襄	1
新島先生遺贈の精神	小崎弘道	2

タイトル	執筆者	頁
新島襄と科学	島尾永康	11
新島遺品庫収蔵目録の中から		20
英文新島書簡 ハーデー氏夫妻あて (11)		21
フリント牧師と新島襄 (其一)	森中章光	22
この人NEESIMA (12) 涙で語る新島先生	松本亦太郎	30
蟻の説	新島 襄	31
新島日記 (8)		35
忤稽古 修行一件 (2)	新島民治記	36
ブリッヂマン Elijah Coleman Bridgman (1801-61)		38
甘雨公板倉勝明 履歴 (二)		39
植木枝盛書簡 (新島あて)	植木枝盛	40
わが三師	徳富蘇峯	41
この感謝!この祈念!	森中章光	44
日本組合基督教会の略史 (上) 今泉真幸著『日本組合 基督教会史』抜萃	今泉真幸	45
会報		49
<b>第59号 (1980年11月)</b>		
“信以て一身を天父に任せ 義以て一軀を邦家に抛て”	新島 襄	1
同志社の三師を憶う (創立四〇周年記念演説)	宮川経輝	2
新島襄の教育思想 (安中・前橋講演)	井上勝也	7
英文新島書簡 ハーデー氏夫妻あて (12)		21
同志社新島研究会主催第一回地方講演に協力して	萩原俊彦	22
この人NEESIMA (13)		31
米欧学事視察巡歴中のハーデー夫妻あて新島書簡 (1) (田中文部理事官との初会見)		32
岡山陶器所 安息日学校開校式に臨み (演説)	新島 襄	42
忤稽古 修業一件 (3)	新島民治記	46
福土成豊書簡 (明治二三年一月二〇日付)	福土成豊	47
日本組合基督教会の略史 (中)	今泉真幸	48
会報		50
<b>第60号 (1981年2月)</b>		
“国家のため寸力を竭さんと中心燃ゆるが如く此挙に及ぶ”	新島 襄	1
君はなお生くとこしなえに生く	竹越與三郎	2
新島襄の究極にあるもの—その祖国愛と信仰	武 邦保	8

タイトル	執筆者	頁
英文新島書簡 ハーデー氏夫妻あて (13)		23
J. D. デビス博士著 基督教の基本 序文	新島 襄	24
米欧学事視察巡歴中ハーデー夫妻あて新島書簡 (2) (日本における一般教育執筆のこと)		25
この人NEESIMA (14)		27
新島あて書簡 同志社英学普通科生より		28
新島書簡集編集 資料蒐集の旅 (其一)	森中章光	29
忝稽古 修行一件 (4)	新島民治記	29
新島是水翁 略歴	金森通倫	32
裏から見た新島先生 (講演)	徳富蘇峯	35
聖雄新島先生 (講演)	永井柳太郎	44
日本組合基督教会の略史 (中の二)	今泉真幸	48
会報		50
<b>第 61 号 (1981 年 8 月)</b>		
閑散の身となるべきか はた血戦を試むべきか?!	新島 襄	1
神愛無限	森中章光	2
新島襄と越後長岡伝道	本井康博	13
英文新島書簡 ハーデー氏夫妻あて (14)		20
“悲新島先生逝去文” (原漢文和訳)	西田幾多郎	21
飯田逸之助あて“新島書簡”		23
忝稽古 修行一件 (5)	新島民治記	23
米欧学事視察巡歴中ハーデー夫妻あて新島書簡 (3)		26
この人NEESIMA (15)		29
新島襄あて徳富猪一郎書 (明治専門学校及び同志社大学 につき)		30
大学発起人に関する新島邸での最初の会合 (新島記録)		31
“同志社大学設立の旨意”その発表に至るまで		32
新島書簡 資料蒐集の旅 (其二)	森中章光	33
新島襄論	山路愛山遺文	38
西京引移り日記	新島是水記	38
日本組合基督教会略史 (下)	今泉真幸	44
新島先生の板垣退助観	原田 助	45
新島に関する唯一の澤辺琢磨書簡	澤辺琢磨	46
会報		47

タイトル	執筆者	頁
<b>第62号 (1982年3月)</b>		
新日本構造の良材を培養せんと計る	新島 襄	1
新島襄先生と山本覚馬先生	森中章光	2
京都近代化の恩人山本覚馬の顕彰運動を盛大に	田村敬男	14
山本覚馬をしのび語る会 (報告)	萩原俊彦	18
悲劇と栄光の人新島襄 (一) -Durch Leiden zur Glorie-	志賀英雄	20
同志社新島研究会大阪講演会開会の挨拶	松井七郎	31
新島襄最初の上陸地点-付川口与力町という呼称-	鎚木路易	32
新島襄先生とクラーク博士	末光力作	33
宣教師関係資料にあらわれた「新島襄」(その一)	武 邦保	44
小ノート 岸和田山岡家走り書	萩原俊彦	51
新島襄先生生誕記念会 (報告)	井上勝也	59
一九八一年度同志社 学生・生徒による「新島襄」懸賞論文-入選者発表	武 邦保	60
<表紙写真説明>ハーディー家の墓地	井上勝也	60
<b>第63号 (1983年1月)</b>		
徳の高き尚天の如し 日夜生の及ばざるを憂う	新島 襄	1
中山光五郎あて新島書簡写	森中章光	2
新島襄と札幌独立教会	末光力作	4
新島襄と北海道のキリスト教 (上)	萩原俊彦	11
函館時代の新島襄	井上勝也	22
函館の外商フレデリック・ジョン・ウィルキー	手塚竜磨	38
「新島のおじさん」と「満坊」	大島正満	41
新島襄日本脱出の背景 - 箱館と福士成豊について-	千代 肇	56
悲劇と栄光の人新島襄 (二) -Durch Leiden zur Glorie-	志賀英雄	76
宣教師関係資料にあらわれた-国際人としての「新島襄」(その二)	武 邦保	88
講演会「新島襄とニコライ宣教師」を終えて	築茂三郎	98
同志社地方講演会に参加して	西谷潤一	99
新島研究会の北海道講演会に参加して	石川仲伊	100
新島研究会講演会・一九八二年度総会報告	井上勝也	103
<表紙写真説明>新島襄の函館脱出の碑		105
<b>第64号 (1983年5月)</b>		
「偏に人材を陶冶し-」(新島襄)	注・森中章光	1

タイトル	執筆者	頁
偉人の出遭－山本覚馬先生と新島襄	森中章光	2
山本覚馬－おほえがき・人と思想	原田久美子	12
会津に残る山本覚馬ゆかりの遺跡	若月健悟	32
山本覚馬が同志社教育に期待したもの	大橋寛政	44
会津地方近代民衆史の課題	掘幸一郎	47
会津の女性展のなかで	小絵山六郎	56
<読書案内>会津の女性 新島八重を学ぶに必要な近刊書	萩原俊彦	60
悲哀のしもべ・新島 襄	本井康博	62
「回想の加藤勝弥－クリスチャン民権家の肖像－」を読んで	武 邦保	75
新島研究会第三回地方講演会報告	萩原俊彦	78
<表紙写真説明>新島遺邸の表門		81

#### 第 65 号 (1983 年 12 月)

「心力を竭し此道を伝えん」(新島襄)	森中章光(注)	1
新島襄先生安中新屋敷碑文	(湯浅半月)	2
新島襄先生の宗教	土居真俊	3
新島襄先生と安中教会	松井七郎	7
『新島襄の生涯と手紙』覚え書き	北垣宗治	21
新島襄のフェミニズム(女性思想)について	秦 芳江	29
山本覚馬と障害者問題	住谷 馨	35
新島襄の説教とその「社会神学」的一側面	武 邦保	45
アーモスト大学再訪記	井上勝也	52
報告	萩原俊彦	54

#### 第 66 号 (1984 年 5 月)

主の栄光を世の人々の前に顕わせ(新島襄)	注・森中章光	1
学生キリスト教青年会運動と新島襄(上)	武 邦保	2
会津時代の山本覚馬	若月健悟	3
山本覚馬の建白書「管見」の写本について	大西友三郎	17
現代大学教育と新島精神	梁瀬 健	21
“元治元年新島七五三太二十一歳”	頼富雅博	26
真の新島精神を受け継ぐ責任－柳島・田畑両先生に学ぶ－	吉田曠二	40
会津人・山本覚馬研究に必要な関連図書	萩原俊彦	45
新島襄の説教－その社会神学的一側面(その2)	武 邦保	53
<表紙写真説明>新島先生がフィリップス・アカデミー時代 ホーム・ステイしたヒドゥン家及びミス・ヒドゥンについて	井上勝也	62

タイトル	執筆者	頁
報告	萩原・松井	68
<b>第67号(1985年2月)</b>		
常に眼を開き、天下の真相を監察せよ(新島襄)	注・森中章光	1
新しい日本人のヴィジョンー新島襄の思想再考ー	武田清子	2
新島襄と四国人	末光力作	13
『坊ちゃん秘話』に寄せて	近藤英雄	21
「聴天聲」	美藤 章	23
四国講演会レポートー新島研究会に寄せるー	高尾 哲	27
「西村清雄」研究	西村 拓	31
新島研究会・森中章光氏のことにつれてー同志社新島研究会第四回地方講演会に出席してー	面地 豊	47
見えざる聖手のみちびき	森中章光	49
新島襄の説教ーその社会神学的一側面(その三)	武 邦保	58
書評・愛媛のキリスト教伝道と西村清雄を学ぶにふさわしい二冊の新刊書	萩原俊彦	66
研究会例会総会報告・報告	井上勝也	
	萩原俊彦	72
<b>第68号(1985年8月)</b>		
数百年後の美果とならん(新島襄)	注・森中章光	1
バートレット総長とハーディー教授ー新島先生生誕142回記念講演ー	北垣宗治	2
ピースバァデンにて	松山義則	9
新島襄の北海道旅行	末光力作	12
土佐の自由民権家と同志社ー反権力とピューリタニズムの統合ー	吉田曠二	17
新島襄の教育思想ー遺言私解 九十五周年を記念してー	森中章光	23
新島襄の説教ーその社会神学的一側面(その4)	武 邦保	32
新島襄と先進諸国	和田洋一	39
「新島研究会」基金のお願い	松井七郎	50
一九八五年度新島研究会報告	井上勝也	51
同志社新島研究会第五回地方講演会	萩原俊彦	53
同志社新島研究会第一回東京講演会	萩原俊彦	54
紹介と書評 吉田曠二著『龍馬復活』と『土佐クリスチャン群像』		55

タイトル	執筆者	頁
------	-----	---

### 第 69 号 (1986 年 4 月)

<巻頭言>「国会開設祝賀のため」(新島 襄)	注・森中章光	1
「信仰の自由」を建白した晩年の新島襄	吉田曠二	2
新島襄の函館滞在	末光力作	5
新島襄先生の教育理念と現代の教育	秋山哲治	10
安中藩制と新島家の人々	鏑木路易	14
新島襄と漢詩	須賀昌五	43
新島先生の直門勝山・波多野培根先生	森中章光	48
「新島襄の説教について」(その五)	武 邦保	61
「報告」松井七郎先生名誉文化博士授領記念会	萩原俊彦	67
新島研究会例会報告	萩原俊彦	71
表紙説明	森中章光	73

### 第 70 号 (1987 年 5 月)

<巻頭言>「受洗欣喜 天父の鴻恩感謝」(新島 襄)	注・森中章光	1
この特集について	編集委員会武邦保	2
よみがえれ同志社の良心	原 正	3
新島襄の墓	河野仁昭	4
旧新島襄墓碑の劣化・損壊と保存修理	鈴木重治	10
「新島襄先生墓碑再建除幕式々辞」	松山義則	17
新島先生の墓碑再建の意味を考える	遠藤 彰	19
痛憤を越えて敢て寮生を信頼する	小野高治	27
「新島先生の墓」	新井 浩	31
「主張」新島襄先生の墓碑の損壊	同志社新島研究会役員会	35
<資料>各新聞報道－新島襄の墓碑壊さる	編集委員会	36
同志社社報(号外)同志社大学広報		39
森中章光先生・名誉文化博士号を受ける		48

### 第 71 号 (1987 年 11 月)

口絵写真 函館脱出時の扮装の写真		
<巻頭言>信仰を以て学校の基礎となし…(新島 襄)	注・森中章光	1
新島研究の概要と研究会の使命	森中章光	2
ハーディー氏の歿後百年	北垣宗治	6
その後のベルリン号	北垣宗治	9
仙台・東華学校の創立百周年に想う	久永省一	10
熊本バンドと新島襄－日本英学史学界第22回大会記念講演	北垣宗治	15

タイトル	執筆者	頁
海老名弾正先生と私	松井七郎	29
徳富蘇峰先生の新島観－熊本講演	森中章光	37
新島襄先生と安部磯雄先生	森中章光	42
小田時栄（元覚馬夫人）考	丸本志郎	47
愛の人新島襄先生－新島先生生誕記念奨励－	森中章光	53
強い同志社人に－新島襄の生涯を通して考える	井上勝也	59
新島襄のみた江戸末期の子供の教育	Y・K	
最近の新島襄文献	河野仁昭	70
新島襄全集第三巻の上梓にあたり	杉井六郎	73
<意見>控えめな提言	香峰逸史	74
松山総長のアーモスト大学名誉学位受領によせて	O・ケーリ	76
破損した旧新島襄墓碑の復元・修理完成	鈴木重治	77
「新島研究会基金」のお願い	松井七郎	81
表紙のハーディー氏の胸像について	井上勝也	83

## 第72号（1988年4月）

口絵写真 フィリップス高等学校時代二十三歳		
<巻頭言> 「小生斃るゝも…」（新島 襄）	森中章光（注）	1
新島襄の最初の英作文	北垣宗治（訳）	2
新島襄先生と植物	末光力作	9
新島襄とビューリタニズム	和田洋一	23
新島襄の母校－ニューイングランド紀行－	河野仁昭	33
新島襄の「キリスト教」－その信仰の系譜－	武 邦保	60
徳富蘇峰先生と同志社大學	森中章光	70
新島襄先生の永眠に想う	松井七郎	84
新島襄と聖書	山本文雄	94
「新島襄」を教えて	中村幸久	99
新島襄の見たアメリカ（新島懸賞論文）	村田晃嗣	103
新島襄から学ぶもの（新島懸賞論文）	川上 揚	118
新島襄と欧米文明（新島懸賞論文）	伊藤孝人	125
梶谷仲さんのお墓のこと	秦 芳江	147
快風丸の前身について	北垣宗治	148
最近の新島襄文献	河野仁昭	149
新島研究関係外国人名・地名日本語標準表記について	編集部	151
ニュース		153
報告		155

タイトル	執筆者	頁
「新島研究会基金」のお願い		157
表紙「雷さん」の解説	井上勝也	159
<b>第73号 (1988年11月)</b>		
口絵写真 アンダーヴァーにあった新島先生の遺品		巻頭
<巻頭言>「祈りを常になし…」(新島襄)	森中章光(注)	1
水崎基一先生と同志社大学	松井七郎	2
高梁が生んだ社会事業家留岡幸助先生と新島襄先生	井上勝也	18
中島重-高梁の生んだ平和の使徒-について	武 邦保	34
同志社創業前史(一) 二大試練と新島襄先生	森中章光	42
新島襄と会津	河野仁昭	52
新島八重の葉書をめぐって	末光力作	65
デイヴィス先生生誕百五十年		67
放送劇「一粒の麦」(前編)	森中章光	68
「女のたゝかい」-新島襄の生涯 座談会		98
アンダーヴァーにあった新島先生の遺品(口絵写真の解説)	井上勝也	107
最近の新島襄文献	河野仁昭	109
ニュース		112
新島襄全集一卷教育編人名索引	加茂正典	128
「新島研究会基金」のお願い		129
編集後記		130
表紙「新島記念講堂・礼拝堂」の解説	武 邦保	131
<b>第74号 (1989年5月)</b>		
口絵写真 デイヴィス先生関係		
<巻頭言>「良心の全身に充滿したる…」(新島襄)	森中章光(注)	1
J. D. デイヴィス先生を憶う	森中章光	2
J. D. デイヴィス-人と思想-	藤代泰三	29
デイヴィスの手紙	森永長壹郎	54
回想のデイヴィス	河野仁昭	55
宣教の勇者デイヴィスの生涯(一)	マール・デイヴィス著 北垣宗治訳	73
J. D. デイヴィス文献目録	河野仁昭	97
ニュース		107
報告		108
表紙「デイヴィス先生油絵肖像画」の解説	編集部	113

タイトル	執筆者	頁
<b>第75号(1989年11月) &lt;松井七郎先生追悼号&gt;</b>		
特集口絵写真		A-D
<巻頭言>「幽暗を照らす真光のため」(新島襄)	森中章光(注)	1
アムビシャスなピューリタン-新島襄とその同志たち-	吉田曠二	2
教室で新島襄をどのように教えるか(一) パネラー 中村幸久・西村幸郎・小池基信・井上勝也 司会 北垣宗治		12
松井七郎先生追悼文		49
終戦のころの松井先生	松山義則	50
回顧 松井七郎先生	秋山哲治	51
松井七郎先生の死の前	久永省一	53
教会の灯火を消すことなく	佐伯幸雄	55
父	松井 純	59
追憶	森中章光	59
松井七郎先生のことども	北垣宗治	61
松井七郎先生と「京都三山登り」	田島 繁	64
松井先生の思い出	古館美由紀	69
『新島研究』と松井七郎先生	大鉢 忠	72
放送劇「一粒の麦」(後編)	森中章光	74
宣教の勇者デイヴィスの生涯(二)	J. マール・デイヴィス著 北垣宗治(訳)	110
最近の新島襄文献	河野仁昭	121
「新島研究会基金」のお願い		124
ニュース		125
編集後記		130
表紙「八円切手」の解説	編集部	131
<b>第76号(1990年6月) &lt;新島襄先生永眠100周年記念特集号&gt;</b>		
口絵写真 新島襄先生明治二二年(46歳)最晩年の写真		
<巻頭言>新島研究の意義	松山義則	1
新島襄先生永眠百周年記念早天祈祷会 奨励	松山義則	2
「創造の神との出会い」-新島襄をとらえたもの-	飯 清	4
P. F. マッキーンとアボット・アカデミー	北垣宗治	12
大磯における新島襄	河野仁昭	26
新島襄先生の生涯から学ぶ	井上勝也	47
一粒の麦、死なずば-苦学生大西留吉君の生涯に学ぶもの-	頼富雅博	71
新島襄に学ぶもの(一九八九年懸賞論文一等入選作)	山口ゆかり	76

タイトル	執筆者	頁
新島襄に学ぶもの（一九八九年懸賞論文一等入選作）	三木かおり	81
教室で新島襄をどのように教えるか（二）パネラー 藤井 広樹・柏木和宣・近藤十郎・北垣宗治 司会 井上勝也		84
宣教の勇者 デイヴィスの生涯（三）	マール・デイヴィス著 北垣宗治（訳）	126
アンケート調査結果		138
最近の新島襄文献 ニュース	河野仁昭	146
新島襄先生永眠100周年記念行事		152
新刊紹介 井上勝也著『新島襄 人と思想』		153
森中章光著『新島襄先生の生涯』		154
報告		156
訃報 森中章光先生逝去		158
編集後記		100
表紙「アーモスト大学ジョンソン・チャペルの新島先生 肖像画」の解説	編集部	161
<b>第77号（1990年11月）＜森中章光先生追悼号＞</b>		
新島先生のことば	選・井上勝也	2
口絵写真 同志社礼拝堂		A・B
<巻頭言>大丈夫の意地	末光力作	2
新島襄先生その「教育愛」	森中章光	4
新島襄先生の遺言と私の人生－時危うくして偉人を想う	森中章光	14
新島研究の権威者 森中章光先生の日記－日々綴られた 新島研究の足跡－	吉田曠二	22
恩師の書簡－洗心草堂森中章光編	波多野政雄	36
新島襄と仏教徒－初期の同志社をめぐる仏教界の動向－	本井康博	43
新島襄の心緒－署名する姿と形－	杉井六郎	61
新島襄の芥屋の大門紀行について	末光力作	69
森中章光先生追悼文		74
弔辞	松山義則	75
森中章光先生を送る辞	秋山哲治	75
森中章光先生と同志社教会	佐伯幸雄	76
森中先生のことども	北垣宗治	81
森中先生の想い出	萩原俊彦	82
人生の転機－新島襄の片鱗に触れて	石田正弘	85
森中章光先生を憶う	井上勝也	87

タイトル	執筆者	頁
『新島研究』と森中章光先生	大鉢 忠	90
妻から見た森中	森中牟良	92
父の思い出	松井敬子	95
森中先生を偲ぶひと時	座談会	102
森中章光先生著書・論文目録	河野仁昭	117
宣教の勇者デイヴィスの生涯（四）	マール・デイヴィス著 北垣宗治訳	121
ニュース		134
安中市に於ける新島襄先生永眠百周年記念行事 同志社礼拝堂保存修理工事竣工式		
報告		135
編集後記		140
表紙「同志社礼拝堂六十円切手」の解説		141
<b>第78号（1991年5月）</b>		
新島先生のことば	選・井上勝也	2
口絵写真 1867年（24歳）の写真		A・B
<巻頭言>人間の偉大さ	北垣宗治	2
アメリカ研究としての新島研究	北垣宗治	4
新島襄先生が目指した人間像	汲田克夫	28
新島襄と札幌農学校の人々	大山綱夫	48
新島襄と大久保真次郎－「黒い目」と「赤鬼」	本井康博	68
同志社ハリス理化学校の内容とその使命	末光力作	95
玉島航海の意味	河野仁昭	108
琵琶湖疎水の煉瓦がハリス理化学館へ－第一報－	谷川孝造	123
新島襄の伝道と同志社	門谷 清	132
ニュース		148
報告 講演会・研究会・記念会など		152
編集後記		154
表紙の解説		155
<b>第79号（1991年11月）</b>		
新島先生のことば	選・井上勝也	2
口絵写真 1873（明治6）年（30歳）の写真		A・B
<巻頭言>「同志社設立の始末」に思う	上田堅一郎	2
新島襄と山室軍平	本井康博	4

タイトル	執筆者	頁
新島襄と柏木義田	武 邦保	29
新島襄先生を偲ぶ	松尾光風 解説 河野仁昭	46
遺跡をチェックしながら	北垣宗治	55
「新島・同志社・キリスト教」	田中久雄	63
新島襄先生肖像画の作製について	星野三雄	71
新島襄の脱鎖国性	武 邦保	76
宣教の勇者デイヴィスの生涯（五）	マール・デイヴィス著 北垣宗治訳	88
最近の新島襄文献	河野仁昭	104
ニュース		109
NHKラジオ「新島襄を語る」新島襄生誕150周年記念 文化講演会		
報告 役員会など		112
新島先生のことばの解説	井上勝也	115
編集後記		116
表紙裏の解説	井上勝也	117
<b>第 80 号（1992 年 5 月）</b>		
新島先生のことば	選・井上勝也	2
口絵写真 1887（明治20年（45歳）の写真		A・B
<巻頭言> 内村鑑三の同志社評	仁井国雄	2
宮城英学校 新島襄と押川方義	本井康博	4
新島襄先生の教育観と今日的課題	汲田克夫	37
デイヴィスの手紙に見る同志社女子部の草創期	森永長壹郎	54
山本覚馬先生と明治の精神	西田直二郎 解題 河野仁昭	69
同志社女子部におけるキリスト教主義教育	金井栄子	83
新島襄の寄港地 津軽海峡の風間浦	河野仁昭	110
控えめな提言	Q	129
NHKラジオ「こころをよむ」－新島襄を語る（井上勝 也先生）を聴いて	吉田曠二	137
松尾音次郎について	河野仁昭	141
宣教の勇者デイヴィスの生涯（六）	マール・デイヴィス著 北垣宗治訳	142
ニュース		153
編集後記		160

タイトル	執筆者	頁
表紙の解説		161
<b>第 81 号 (1992 年 11 月)</b>		
新島先生のことば	選・井上勝也	表紙裏
口絵写真 新島襄の英文日記 (一八七五年四月一日～五日)		口絵 1
<巻頭言>新島先生生誕一五〇年を記念して	松山義則	2
新しい「詳年譜」 - 『新島襄全集』第八巻の意義	北垣宗治	4
「新島襄の弟子」・深井英五	鎗木路易	21
新島襄における西洋体験の意味	坂井 誠	45
新島襄と女子教育	竹山幸男	66
新島襄を京都に導いた一冊の本 - 山本覚馬発行の英文「京都案内」	吉田曠二	97
藪の牛	松井 全	114
本州北端の村に建った新島襄寄港地の碑	河野仁昭	116
宣教の勇者デイヴィスの生涯 (七)	マール・デイヴィス著 北垣宗治訳	122
最近の新島襄文献	河野仁昭	137
ニュース		142
報告	井上勝也	142
新島襄の英文日記「奈良、宇治、石山、京都行ノ記」	オーテス・ケーリ 北垣宗治訳	157
表紙の「新島襄生誕の碑」と「Neesima」の解説		159
<b>第 82 号 (1993 年 5 月)</b>		
新島先生のことば	選・井上勝也	表紙裏
口絵写真 [ホテル・サンゴタール]		
<巻頭言>山本覚馬翁永眠百年におもう	河野仁昭	2
山本覚馬・八重兄妹の出自	宮崎十三八	4
京都活性化のプロモーター山本覚馬 - その人と文化戦略 -	吉田曠二	17
新島襄と山本覚馬 - 京都の近代を作った男たち -	早乙女貢	28
山本覚馬と八重	福本武久	48
新島襄と大隈重信	河野仁昭	74
明治期のキリスト教教育と新発見の新島書簡について	梁瀬 健	104
晩年の深井英五	鎗木路易	112
同志社のアイロニー - 山室軍平の中途退学 -	木原活信	139
山本覚馬・新島八重文献	河野仁昭	163
ニュース		174

タイトル	執筆者	頁
報告		175
表紙の「山本覚馬像」の解説		179
<b>第 83 号 (1993 年 11 月)</b>		
新島先生のことば	選・井上勝也	表紙裏
口絵写真 新島先生立像写真		A B C
<巻頭言>新島先生生誕百五十年記念の問い	中村幸久	2
新島記念行事を終えて	河野仁昭	4
画期的な新島襄写真集『新島襄－その時代と生涯－』 新島襄生誕一五〇年記念写真集	北垣宗治	18
新島襄の大意－日本の近代化のために－	井上勝也	29
井上勝也教授NHKテレビで新島襄を語る	井上勝也	52
	末光力作 [要約]	
書簡の名人－新島襄 名城大学総合講座筆記	吉田曠二	61
十九世紀の自叙伝－ニューマン・ミル・新島・内村	J. H. バックリー 北垣宗治訳	83
大阪における新島襄－木戸孝允との邂逅を中心に－	鐙木路易	104
「神戸バンド」一試論－新島襄と神戸	武 邦保	139
ディヴィスの手紙に見るトレーニング・スクールの草創期	森永長壹郎	156
最近の新島襄文献	河野仁昭	173
勝海舟の「六然之書」	鐙木路易	180
ニュース		181
報告		181
表紙の「新島襄立像・肖像画100号」の解説	編集部	185
<b>第 84 号 (1994 年 5 月)</b>		
新島先生のことば	選・井上勝也	表紙裏
口絵写真 徳富(大人たらんと) + 自責の杖記念写真		
<巻頭言>理想主義者 新島襄	井上勝也	2
新島書簡の落とし穴－「自責の杖」事件を読む－	本井康博	4
水沢における新島襄の教え子達	高橋光夫	32
上海の内山完造－新島襄との見えざる糸の結びつき－	吉田曠二	49
新島に人間味を求めて－河野仁昭『新島襄への旅』	北垣宗治	61
新島襄と岡山	竹中正夫	70
明治二十三年ごろの通信・郵便事情	松井 全	87
新島先生への挽歌－『獄水会雑誌』第三号より－	竹内力雄	97

タイトル	執筆者	頁
宣教の勇者デイヴィスの生涯（八）	マール・デイヴィス著 北垣宗治訳	102
表紙裏の解説 時危うくして偉人を思う	井上勝也	120
管子の「終身の計」	鎗木路易	122
最近の新島襄文献	河野仁昭	123
ニュース		125
報告	井上勝也	126
表紙写真「白布高湯温泉の東屋」の解説	編集部	131
<b>第 85 号（1995 年 1 月）</b>		
新島先生の言葉	選・井上勝也	表紙裏
口絵写真		
<巻頭言>同志社一名は実の賓なり	鎗木路易	2
明治五年八月、露都サント・ペテルブルグでの新島襄と『理事功程』	竹内力雄	4
新しい山本覚馬像	鎗木路易	25
マイ トリップ トウ アメリカ	吉田曠二	59
新島先生の足跡を訪ねて	森永長壹郎	75
新島襄の足跡をたどって－アーモスト、アンドーヴァー訪問記	嶽 咲子	81
新島襄の足跡をたずねる旅	河野仁昭	87
書評 北垣宗治著『新島襄とアーモスト大学』（山口書店、1994年）	川西 進	98
秋山哲治先生のことども	北垣宗治	109
表紙裏<新島先生の言葉>の解説	井上勝也	112
最近の新島襄文献	河野仁昭	113
報告		115
新島襄“米の家系”も大使役	井上勝也	118
表紙「ワイルド・ローヴァー号の油絵」の解説	編集部	121
<b>第 86 号（1995 年 7 月）</b>		
新島先生の言葉	選・井上勝也	表紙裏
口絵写真 [横村知事、千木良昌庵宛手紙]		
<巻頭言>新島研究家の人々	松山義則	1
アメリカ南北戦争直後のニューイングランド	オーテス・ケーリ	3
新島襄と押川方義－親交と確執の諸相－	本井康博	11
新島先生の二つの遺言	竹山幸男	36

タイトル	執筆者	頁
デイヴィス氏の手紙に見る新島襄	森永長壹郎	43
人間をとる漁師	ペニンントン・モモ	53
同志社の開校－山本覚馬・榎村正直を中心に－	鎗木路易	59
宣教の勇者デイヴィスの生涯（九）	マール・デイヴィス著 北垣宗治訳	116
表紙裏<新島先生の言葉>の解説	井上勝也	137
最近の新島襄文献	中西清和編	138
報告・ニュース		141
<b>第 87 号（1996 年 1 月）</b>		
新島先生の言葉	選・井上勝也	表紙裏
口絵写真 [中村栄助宛書簡, H.S.テイラーの墓]		
<巻頭言>新島研究の裾野	上田堅一郎	1
<論文>		3
W. S. クラーク博士からの樹木の種子	森 一郎	3
今不学恐失時－新島襄の十五歳の手紙	河野仁昭	13
あの日のこと	松井 全	26
『蘇峰自伝』を読む－シルバーライフの宣言書	吉田曠二	31
<翻訳>		42
宣教の勇者デイヴィスの生涯（十）	マール・デイヴィス著 北垣宗治訳	42
<末光力作先生追悼>		67
末光力作先生の思い出	森 一郎	67
末光先生のことども	北垣宗治	72
末光力作先生	大鉢 忠	75
<資料・ニュース>		81
表紙裏<新島先生の言葉>の解説	井上勝也	81
最近の新島襄文献 1995年11月現在	中西清和編	83
報告		86
ニュース		87
<b>第 88 号（1997 年 2 月）</b>		
新しい『新島研究』の刊行について	井上勝也	3
<論 文>		4
新しき「自責の杖」事件の時は来たれり－新島襄とD. W. ラーネット－	本井康博	4
同志社の社会福祉の源流	河野仁昭	32

タイトル	執筆者	頁
草創期の同志社と榎村正直	坂井 誠	58
マイ トリップ トウ チャイナ - 魯迅と内山完造の 周辺 -	吉田曠二	112
同志社出身の興銀総裁小野栄二郎	鏑木路易	128
<翻 訳>		173
宣教の勇者デイヴィスの生涯 (十一)	マール・デイヴィス著 北垣宗治訳	173
日本人徳富蘇峰と梁啓超	馮自由著 藪田謙一郎訳	217
新島研究ニュース		236
<b>第 89 号 (1998 年 2 月)</b>		
『新島襄の生涯と手紙』と林楽知	藪田謙一郎	3
新島襄と福沢諭吉-同志社から見たふたりの交流-	本井康博	39
新島襄のディレクタントイズム-素人の文明史観を探る-	武 邦保	68
中村 栄助 (一) -クリスチャン京商人の生涯-	河野仁昭	80
一青年の見た新島襄	服部泰夫	106
THE CONGREGATIONALLIST (Vol.LXXXNo9) 所収 の新島襄関係資料について	小山文雄・小原由美子	110
宣教の勇者デイヴィスの生涯 (十二)	マール・デイヴィス著 北垣宗治訳	131
新島研究ニュース		177
<b>第 90 号 (1999 年 2 月)</b>		
新島襄の儒教論	明楽 誠	3
二人の近代-論吉と襄	坂井 誠	67
岩倉使節団員としての新島襄	大越哲仁	135
新島襄と高島炭鉱問題-新島襄と勝海舟の接点として-	鏑木路易	173
新島襄と徳富蘇峰	服部泰夫	212
新島襄の「白鳥の歌」-「いしかねも」秘話-	本井康博	234
新島襄伝への期待	河野仁昭	252
宣教の勇者デイヴィスの生涯 (十三)	マール・デイヴィス著 北垣宗治訳	276
日本ミッションの視点-1998年の新島研究の成果-	北垣宗治	332
新島研究ニュース		356

タイトル	執筆者	頁
<b>第91号 (2000年2月)</b>		
新島襄の闕字について (一)	明楽 誠	3
「少年よ大志を抱け」(Boys, be ambitious.) を巡って	寺崎 暹	133
新島襄が宿泊したことのあるルツェルンの「ホテル白十字」	日永 康	155
温泉保養地ヴィーズバーデンにおける新島襄	大越哲仁	163
新島襄の挑戦	河野仁昭	209
新島襄遺言第六条について	服部泰夫	269
宣教の勇者デイヴィスの生涯 (最終回)	マール・デイヴィス著 北垣宗治訳	277
新島研究ニュース		338
Neesima Room 来訪者数 (月別)		350
<b>第92号 (2001年2月)</b>		
同志社創設者・新島襄の病状、治療と現代医学との比較考察	坂部慶夫	3
新島襄と福沢諭吉 (一) - その教育思想を中心に -	坂井 誠	22
根岸橋三郎『新島襄』をめぐって - 柏木義円の批判を中心に -	太田雅夫	118
新島襄と神戸	行天博志	171
新島襄の『青春物語』に見る安中藩の「毀鐘鑄砲」について	鑄木路易	194
新島襄の闕字について (二)	明楽 誠	211
新島像のモデルを求めて	北垣宗治	305
徳富蘇峰の『三代人物史』に見る新島襄観と漢詩に見る志について	服部泰夫	322
資料 宮城英学校設立趣意書	太田雅夫	331
新島研究ニュース		343
<b>第93号 (2002年2月)</b>		
京都看病婦学校と佐伯理一郎 - 宗教活動の視点から -	寺崎 暹	3
新島ゆかりのカタルパが咲いた	秦 芳江	49
青木要吉、山本唯三郎 - 同志社出身の異色の兄弟 -	鑄木路易	69
新島襄における精神形成について - 幼少期から海外脱出まで -	行天博志	117
新島襄の闕字について (三)	明楽 誠	144
<資料>		178
帰国そして同志社設立 - 新島研究のための仮訳 -	訳・服部泰夫	178
史料 新島民治筆「新島家祝物到来覚帳」	籠谷次郎	215

タイトル	執筆者	頁
新島研究彙報		268
<b>第94号(2003年2月)</b>		
<論叢>		3
『理事功程』と新島襄	大越哲仁	3
新島襄のニューイングランド経験再考	吉永契一郎	53
多賀城碑の拓本と李樹延 <small>イェスジョン</small> の書-「新島襄旧邸」の屏風を 中心に-	太田雅夫	81
京都看病婦学校と佐伯理一郎-宗教活動の視点から(二)-	寺崎 暹	116
新島襄と福沢諭吉(二)-その文明論を中心に(その一)-	坂井 誠	152
新島襄の政教分離論について	明楽 誠	173
<研究ノート>		208
新島学の前進	北垣宗治	208
新島襄における精神形成について(二)-フィリップス・ アカデミーからアンドーヴァー神学校まで-	行天博志	226
維新前後の新島襄の書簡と来簡に関する一覧表の作成	鏑木路易	245
新島研究ニュース		273
<b>第95号(2004年2月)</b>		
<論叢>		3
五年生集団退学事件と新島襄	河野仁昭	3
新島襄と福沢諭吉(二)-その文明論を中心に(その二)-	坂井 誠	19
<研究ノート>		40
同志社「良心碑」文言考-「良心」の出典をめぐって-	竹内力雄	40
新島襄と大学設立運動	行天博志	65
内村鑑三と同志社の人々	寺崎 暹	87
サクラ咲く	松井 全	119
新島襄とその兵学	大江 流	132
<資料>		152
新島襄「英吉利文典直訳」について	北垣宗治	152
川口居留地と同志社	西口 忠	171
部門研究ニュース		200
<b>第96号(2005年2月)</b>		
<論叢>		3
ニューイングランド・ピューリタニズムと新島襄	竹中正夫	3

タイトル	執筆者	頁
幕末－維新時における新島家の人々－続・安中藩制と新島家の人々－	鏑木路易	37
同志社大学設立運動と『東雲新聞』－同志社関連記事を中心に－	太田雅夫	64
新島襄と内村鑑三－内村鑑三の視点から－	中森 厚	95
『同志社大学設立の旨意』に現れた「教化」の問題－「同志社大学設立の趣旨」「同志社設立の始末」の比較を通して－	大越哲仁	130
新島襄のニューイングランド経験をめぐって－シリーズ、パーク、新島の福音主義の位相－	明楽 誠	146
福土成豊と北海道の地形測量	上西勝也	181
草創期札幌農学校と初期同志社の比較研究－アマーフト大学の影響を中心に－	小枝弘和	211
お知らせ		234
<b>第 97 号 (2006 年 2 月)</b>		
<論 叢>		3
新島襄の「平民」戸籍の創出と平民主義	竹内力雄	3
新島襄の学んだニューイングランド、フィリップス・アカデミーと当時のカリキュラム	井上勝也	64
新島襄の平民主義と人民観	坂井 誠	134
山本唯三郎と天津	藪田謙一郎	175
「同志社大学設立の大意」の検討	太田雅夫	187
内村鑑三の弟子・斎藤宗次郎－書誌の紹介の中で－	児玉佳典子	208
<書 評>		245
太田雄三著『新島襄』批判	行天博志	246
太田雄三著『新島襄』を読む	服部泰夫	256
太田雄三著『新島襄』を読んで	井上勝也	259
太田雄三氏の『新島襄』を読む	北垣宗治	264
太田雄三著『新島襄』を読んで	宮澤正典	280
太田雄三先生への手紙	森永長壹郎	298
顕彰と検証のバランス－ある新島襄伝の波紋－	本井康博	300
プレゼンティズムの陥穽	吉永契一郎	337
お知らせ		344
<b>第 98 号 (2007 年 2 月)</b>		
<論 叢>		3
新島襄の数学ノート“Elements of Algebra”の原書	竹内力雄・小枝弘和	3

タイトル	執筆者	頁
新島襄の母とみの「口述」を改めて聴く－家老尾崎直右衛門父子と媒酌人岡田源七郎－	関口 徹	17
新島襄と幕末維新の動乱－天誅組の烈士原田亀太郎との交友を中心に－	八木橋康広	111
新島襄とオーティス・ケーリーの学んだアマースト・カレッジ－歴代学長のプロフィール・伝統と当時のカリキュラム－	井上勝也	143
新島襄の「脱国の理由」と『ロビンソン・クルーソー』	森永長壹郎	213
新島襄の回心 (conversion) について	明楽 誠	238
大学部としての同志社政法学校－新島襄逝去後の大学設立運動－	大越哲仁	272
<エッセイ>		331
アメリカのユニーモア作家の「良心論」から見る新島襄の苦闘－良心の自由を求めて－	那須頼雅	331
<講 演>		342
アーモストの輝かしい息子－新島襄のアーモスト大学時代－	ダリア・ダリエンゾ (北垣宗治 訳)	342
<コラム>		428
名護屋丸について	森永長壹郎	428
数学ノートに描かれた新島の象のスケッチ	山田果林	430
<b>第 99 号 (2008 年 2 月)</b>		
<論 叢>		
安中藩士岡田源七郎と新島家－関口徹氏の所説にふれて－	籠谷次郎	3
新島襄の母とみと信州中之条代官荒井平兵衛－その人物の特定と業績、一族と居宅地の説明－	関口 徹	24
ラーネッドとセイヤー・カレッジ	大越哲仁	56
同志社第2代社長・小崎弘道とアメリカン・ボード	森永長壹郎	82
北海道における同志社大学設立運動－『北海道毎日新聞』を手がかりに－	小枝弘和	99
<書 評>		124
太田雅夫著『新島襄とその周辺』（青山社刊 2007年3月） 『私の新島襄論』（雅風庵刊 2007年4月）	坂井 誠	124
<b>第 100 号 (2009 年 2 月)</b>		
巻頭言	露口卓也	1
<100号記念特集 I 新島襄を若い世代にどう教えているか>		
はじめに		6
同志社女子中学・高等学校の場合	富田正樹	7

タイトル	執筆者	頁
同志社香里中学・高等学校の場合	生田香緒里	17
同志社国際中学・高等学校の場合 －新島襄生誕記念懸賞論文への道－	山本真司	22
共愛学園高等学校の場合	頼富雅博	28
<100号記念特集Ⅱ 新島襄の伝記をめぐって>		
はじめに		37
湯浅与三と魚木忠一の新島襄伝	井上勝也	39
神田哲雄と渡辺実の新島襄伝	北垣宗治	49
新島襄伝あれこれ －「顕彰」と「検証」のはざままで－	本井康博	62
<論 叢>		
新島襄と女性教育－もう一つの志－	坂本清音	78
新島襄の畢生の事業－開始に当たっての努力・苦悩・祈り－	井上勝也	109
近世新島家の儀礼と贈答の人びと－「新島家祝物到来 覚帳」の考察－	籠谷次郎	124
新島襄の母とみと御目見医師雨森宗真－越前大野藩医 雨森家の究明と「恩人碑」－	関口 徹	182
新島 襄の神学思想	大越哲仁	203
札幌基督教会と新島襄	小枝弘和	233
柏木義円と同志社問題－連袂辞任と綱領削除問題を中心に－ <資 料>	坂井 誠	250
新島襄が学んだ神学①－神学ノートの翻刻－	山本真司	276
『新島研究』第1～100号 総目次		[1]
『新島研究』第1～100号 執筆者索引		(1)
「新島研究奨励金」ご寄付について〈ご報告とお礼〉		

## 第101号 (2010年2月)

<論 叢>

鍵屋六之丞考	籠谷 次郎	3
山本覚馬と新島襄1	井上 勝也	23
真下五一『小説 新島襄』を読む	北垣 宗治	53
ピエモンテに憩う イタリアの新島襄	本井 康博	75
何故同志社はキャプテン・ジェインズを獲得できなかったのか	森永 長壹郎	114
新島襄のキリスト論～「キリストの真理の証し」と復 活論を中心として～	大越 哲仁	125
新島襄の第1の回心と2つの自伝	明楽 誠	156

タイトル	執筆者	頁
<書評>		
『安部磯雄日記-青春編-』を読んで	川口 浩	170
『安部磯雄日記-青春編-』刊行によせて	檜皮 瑞樹	175
『新島研究』第1～101号 総目次 [改訂版]		[1]
『新島研究』第1～101号 執筆者索引 [改訂版]		(1)